

これはラーメン・ウエスタンだ！

タンポポ

ゴロー山崎努

タンポポ 宮本信子

白服の男役所広司

ガン渡辺謙

シロヘイ板金造

ヒスケン安岡力也

セシイ加藤嘉

老人大滝秀治

ラーメンの先生大友柳太朗

マネージャー 津川雅彦

白服の男の情婦黒田福美

おめがけさん篠井世津子

カキの少女洞口依子

ヤムチャ売り鈴木美江

カマエールの老婆原泉

小さい食辻村真人

太った松井範雄

顔の長いギリヤーク尼ヶ崎

赤鼻の佐藤昇

細長い高見映

専務野口元夫

常務嵯峨善兵

部長田中明夫

課長高橋長英

ヒラ加藤賢崇

ボーイ橋爪功

大三元のおやし久保晶

日の出ラーメン 里木佐甫良

味一番 MARIO ABBE

中華街 高木均

走る男井川比佐志

その妻三田和代

老紳士中村伸郎

刑事田武謙三

連れの男林成年

歯の痛い男藤田敏八

歯科医北見唯一

歯の痛い男藤田敏八

歯科医北見唯一

歯の痛い男藤田敏八

伊丹十三監督作品

製作 玉置泰・細越省吾

脚本 伊丹十三

撮影 田村正毅

照明 井上幸男

録音 橋本文雄

美術 木村威夫

編集 鈴木暁

音楽 村井邦彦

助監督 白山一城

製作担当 川崎隆

キヤスティング・ディレクター 笹岡幸三郎

グラフィックデザイン 佐村憲一

製作 伊丹プロダクション

制作 ニュー・センチユリ・プロデューサーズ

配給 東宝株式会社



御馳走の映画、映画の御馳走——伊丹十三

「第二作はラーメンだそうですね」

「そうです。食べ物の映画です。私は前から食べ物の映画を作りたいかった。食べ物のイメージ

というのは、われわれの視覚や聴覚だけでなく、

味覚や触覚まで刺激する、素晴らしい映画的な

素材だと思ふのです。食べ物を素材にすれば実

に官能的な映画ができるのではないかと、私は

長い間夢見てきました」

「台本の表紙に『これはラーメン・ウエスタン

だ』とありますが」

「ええ、私はこの二年ばかり、食べ物の映画を

作ろうと思つてさまざまなディティルを集めて

きたんですが、そのディティルを取める容れ物

がなかった。ところが、ある時ふと西部劇とい

う容れ物を思いついたのです。西部劇を縦系に

すれば食べ物映画ができるのではないかと、とね

「それですぐ脚本を書かれた」

「いえ。その後また半年くらいは手を付けずに

頭の中で転がしていました。そうしたら、ある

日、すべてが頭の中でカチャカチャと音を立

てて組み上がったのです。そこで私は急いでベ

ンをとおり、二日間でシナリオを書き上げました

「しかし——それにしてもなぜラーメンなので

「この映画で追求される映画らしさとはどのよ

うな映画らしさでしょうか」

「そうですね。一つには食べ物、あるいは食べ

ることの官能性、もう一つは食べることにまつ

わるサスペンスですね」

「そういえば『お葬式』も儀式にまつわる日常

的な小さなサスペンスによってできていました

「そうです。私は日常的なサスペンスをこの上

なく愛するのです」



「それにしてもなぜラーメンなのかなあ。よほ

どラーメンがお好きなんですか？ ラーメン屋

にはよく行かれますか？」

「私はラーメン屋にはほとんど行ったことがあ

りません。行ったことがないからこそ驚くので

す。人々がなぜかラーメンに対して情熱的

「そうです。驚きというのは自分の個性化した

イメージに対する一撃です。そうして、この個

性化したイメージに対する一撃こそが想像力と

呼ばれるものの力であり、つまり、私が映画を

通して追求している当のもののなのです」

これはラーメン・ウエスタンだ！

「では楽しい映画を期待しています」

「ええ。見ているうちに狂おしくおなかがい

て、映画が終わったら一目散にラーメン屋へ馳

つけずにはいられないような映画になるよう努

力しましょう」

1、伊丹十三第一回監督作品「お葬式」は二十

九個の映画賞をさらった上、文字通り老若男女

の観客を集めて、一種の国民映画的なヒットと

なったのであった。

2、その儲けで——かどうかは定かでないが早

くも第二弾を放つという。

3、題名は「タンポポ」

4、これは女主人公の名前なんですな。

5、内容は監督によれば「一言でいうならラ

イメン・ウエスタン」であるとのこと。

6、とある町へふらりとやってきたタンクロ

リーのドライバーが、さびれたラーメン屋の美

しい未亡人に惹かれるまま、そのラーメン屋を

町一番の店に作り直して、いつくともなく去っ

たというお話。「つまり、シェーンのラー

メン版です」(東宝関係者談)

7、伊丹十三脚本は、この単純明快なストーリ

ーを軸に、十三の奇想天外なエピソードをな

いませ、これがすべて食べ物からみという凝り

に凝った趣向であるらしい。

8、「要するに食べ物だらけの映画ということ

です。百ばかりあるシーンの中で、食べ物が出

てくるシーンは六十シーン、出てくる食べ物は百

種類を超えるでしょう」(細越プロデューサー談)

9、さて「お葬式」に続いて伊丹映画の見所は

やはりあのキャストینگである。

10、「いい役があつて初めていいキャストینگ

ができるんです。ろくすっぽ役が書けてないよ

う脚本本にいくら俳優をつぎこんでもいいキャ

スティンクにはなりません」(笹岡キャスティ

ング・ディレクター談)

11、「タンポポ」には六十の役があり、そのうち

三十が高度の演技力を必要とする役、残り三十

上野駅前
上野東宝
☎ (831)3431

ハチ公前
渋谷宝塚
☎ (461)8779

有楽町マリオン・9F
日劇東宝
☎ (574)1131

1月18日(土)より
全国東宝系大公開!

19、製作は「お葬式」コンビ玉置素、細越省吾

20、仕上がり一時間五十分。ピスタサイズ